

## 調査速報

# 道西日本海(檜山海域)スケトウダラ資源調査結果

2010年 12月 24日

北海道立総合研究機構 函館水産試験場 (0138-57-5998)

○2010年12月6日～11日に、調査船金星丸を用いて道西日本海海域(檜山海域)のスケトウダラ資源調査を実施したので、結果をお知らせします(なお昨年の2009年の調査は荒天で実施していません)。調査結果速報は、下記の函館水試ホームページからもご覧になれます。

<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>

- スケトウダラ魚群は漁場とその周辺を中心に分布し、沖合域では少なかった。
- 魚群の分布水深はおよそ170～400mで、濃群は280m以浅にみられた(夜間)。
- 計量魚探による漁場とその周辺の魚群反応量は、2002年以降、もっとも少なかった。
- トロール調査の漁獲物の体長は34～40cmの割合が半分以上であった。
- 魚群の多い水深250m前後で見ると、乙部沖の水温は2008年より低く、江差沖では2008年並み、上ノ国沖では2008年より高めだった。

### ● スケトウダラ魚群の分布

#### ・ 水平分布(図1, 2)

調査海域全体では、魚群の分布は熊石から上ノ国にかけてのスケトウダラ延縄漁場とその周辺に多く見られました(図1)。他に、奥尻島の東側(熊石の北西側)にもややまとまった魚群の分布が見られました。

スケトウダラ延縄漁場内では、爾志海区(熊石沖～乙部沖)で多く、江差沖と上ノ国では少なくなっていました(図2)。

以上の他に、奥尻島の南側の沖合海域や松前小島付近でも調査を行いました。魚群の反応は松前小島付近でやや見られた以外は、ほとんど見られませんでした。

#### ・ 鉛直分布(図3, 4, 5)

魚群の分布は、①(42° 02. 5N線)では水深170～300m、②(41° 57. 5N線)では水深190～400m、③(41° 52. 5N線)では水深180～400m、④(41° 47. 5N線)では水深180～380mに見られました。また、濃群(分布の中心)は280mより浅い水深帯に見られました(図3)。

漁場内を北から南へ航走して収録した魚探反応を見ると、早朝では水深250m前後に分布していましたが、明るくなるに従って深くなり、380m前後まで深くなっていました(図4, 5)。

### ● スケトウダラ延縄漁場周辺の魚群反応量(図2, 6)

檜山沿岸域(スケトウダラ延縄漁場周辺)の2010年の魚群反応量は2002年以降では最も少なく、2008年同期の半分弱(46%)でした(図6)。

### ● トロールで漁獲したスケトウダラの大きさ(図7)

相沼沖で行った着底トロール調査では尾叉長34～52cmスケトウダラが漁獲され、40cm以下の2006年級群と思われるスケトウダラも多く漁獲されました。この40cm以下のスケトウダラの割合は57%と2010年10月の相沼沖のトロール調査結果(50%)より高くなりました。

### ● 水温環境(図8)

スケトウダラ延縄漁場周辺の乙部沖、江差沖、上ノ国沖で水温の観測を行いました。魚群の多い水深250m前後で見ると、乙部沖では2006年と2007年より水温が高く、一昨年(2008年)より低くなっていました。江差沖では2006年より高く、2007年と2008年並みでした。上ノ国沖では2006～2008年より高めとなっていました。

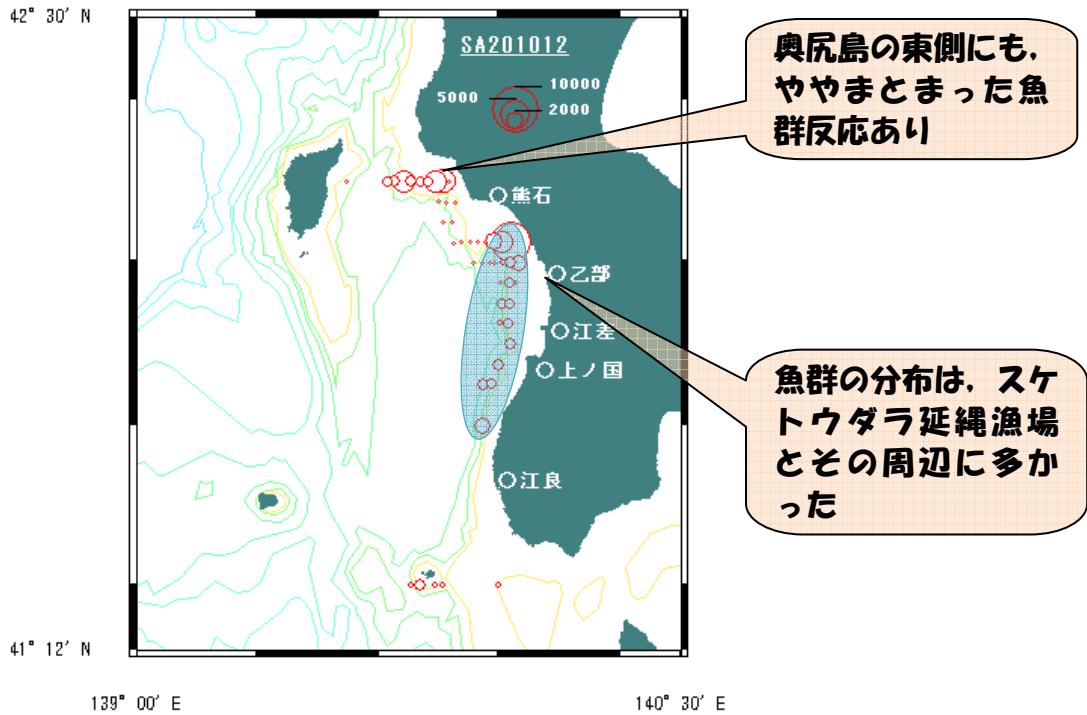



図1 調査海域全体の魚群の水平分布 (2010年12月)

○の大きさが魚群反応量を示す  
 : すけとうだら延縄漁場

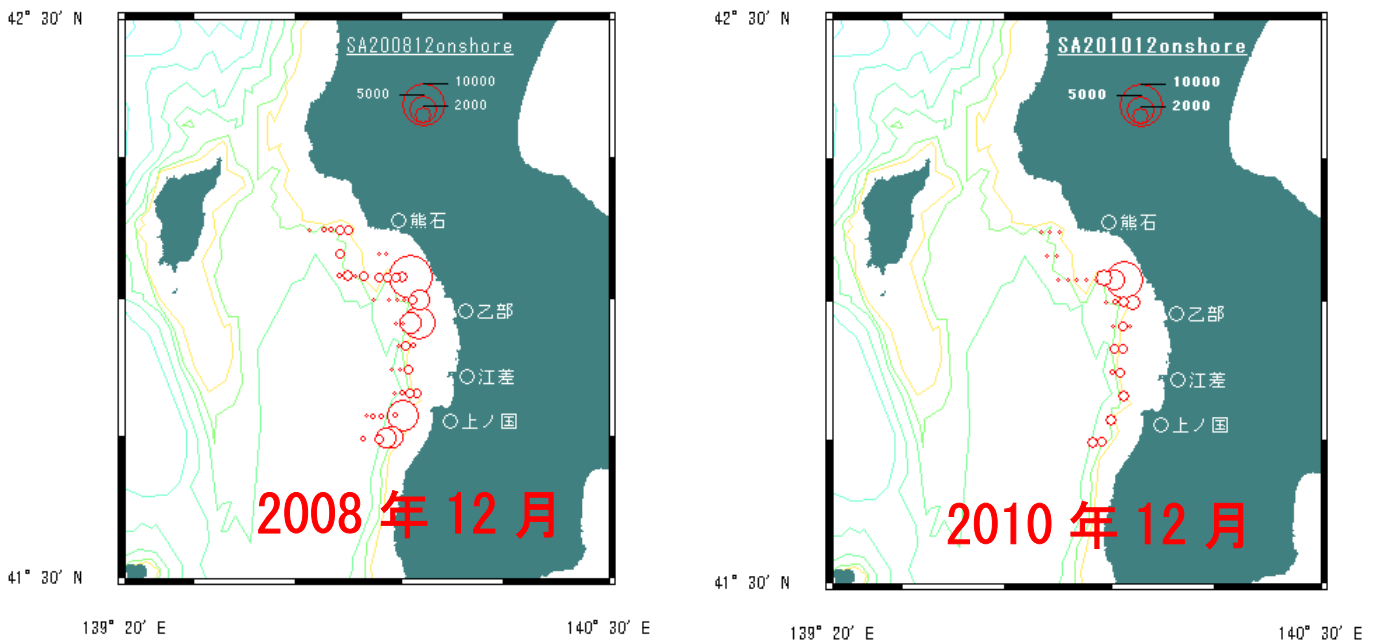


図2 すけとうだら延縄漁場とその周辺の魚群の水平分布 (左: 2008年, 右: 2010年)

○の大きさが魚群反応量を示す

※2009年は荒天で調査を実施できず

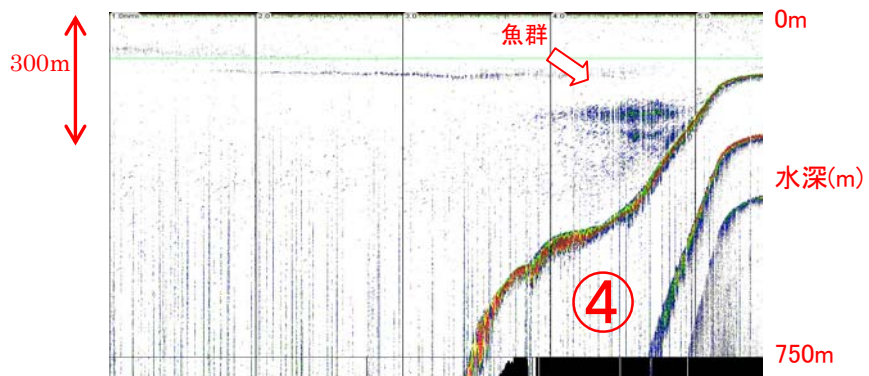
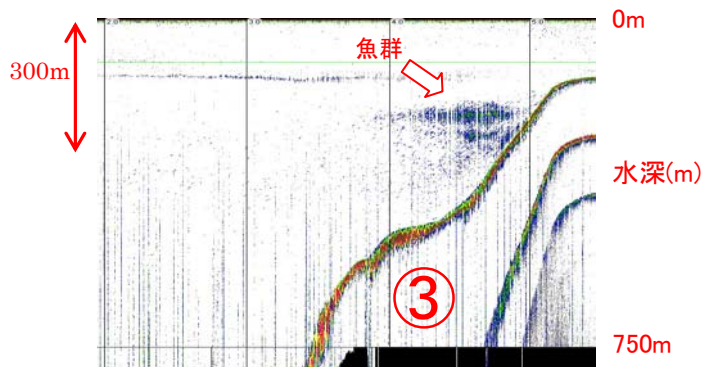
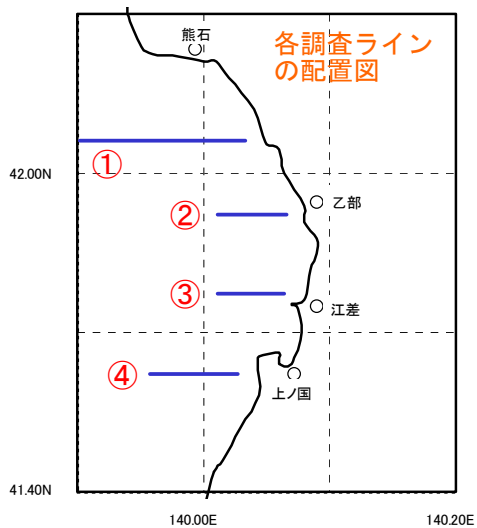
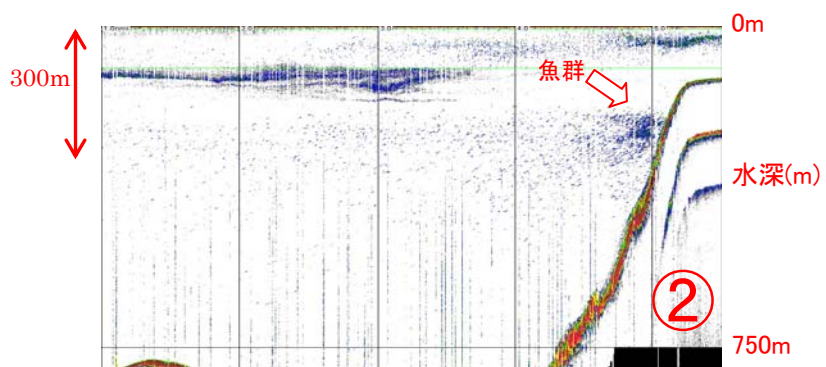
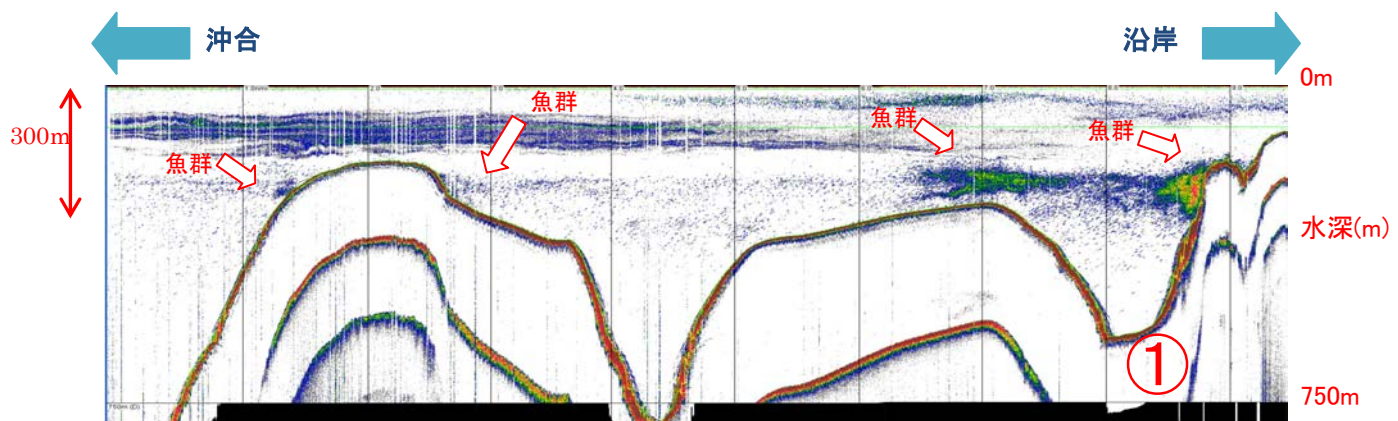


図3 各調査ラインにおける魚群の鉛直分布(夜間に調査を実施)

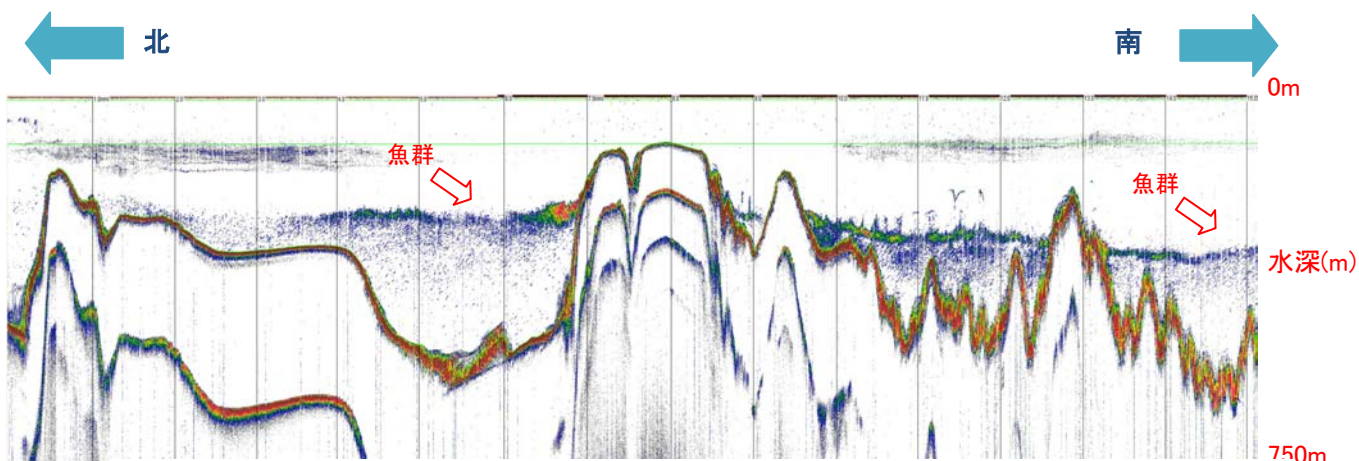


図4 延縄漁場内の42° 05' N~41° 56' Nにかけての魚探反応  
(12月7日午前6時30分~8時)

※一番反応が強い時間帯に調査を行ったので、図3に比べ反応量が過大になっている可能性があります

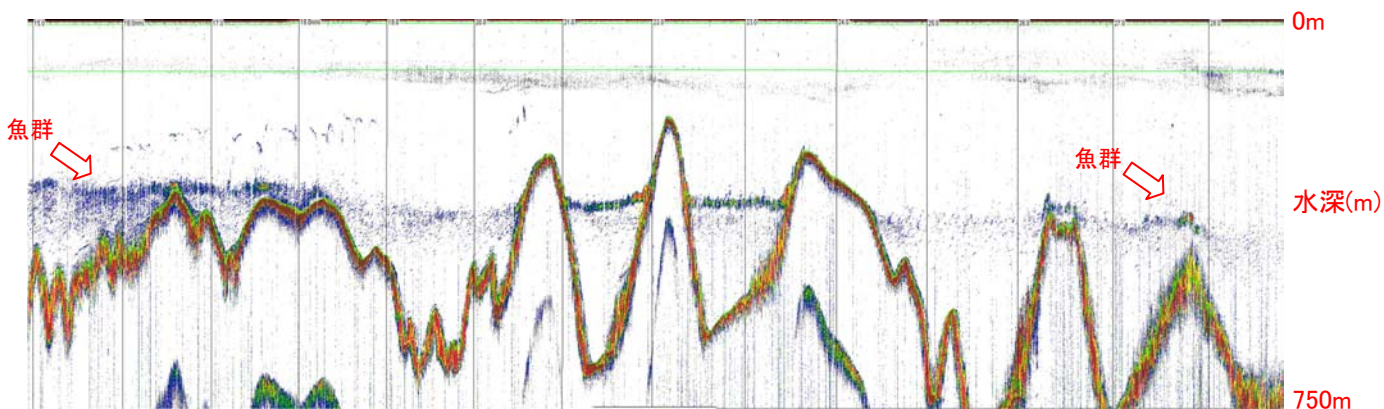
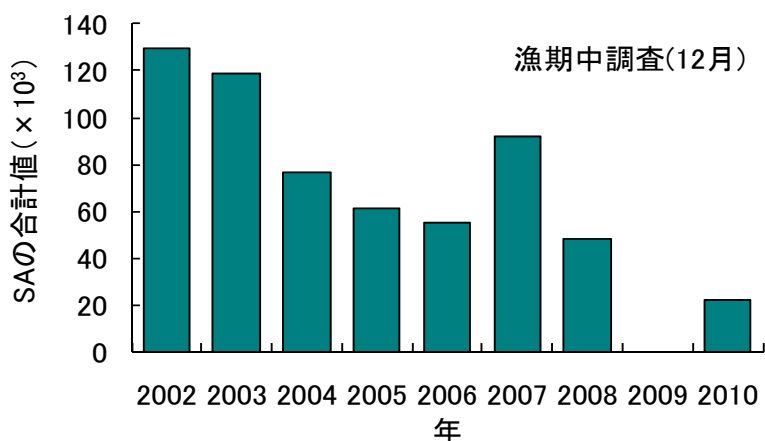


図5 延縄漁場内の41° 56' N~41° 45' Nにかけての魚探反応  
(12月7日午前8時~9時)



※2009年は荒天で調査できず

図6 延縄漁場とその周辺(図2)の魚群反応量の年変化

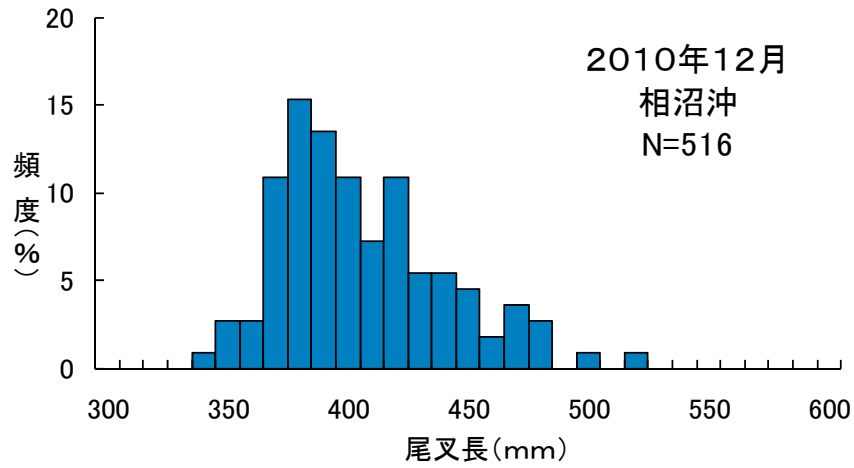
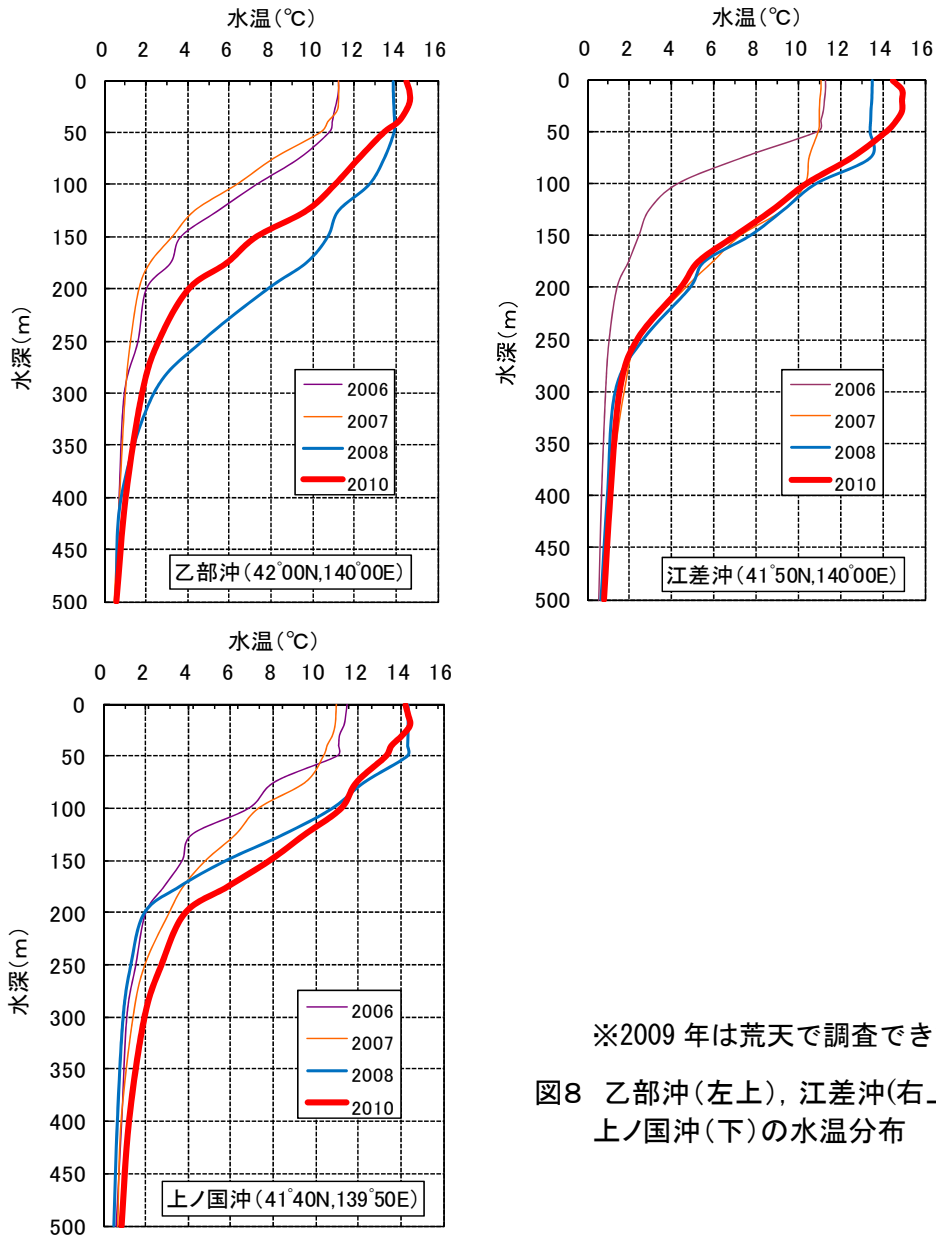


図7 着底トロールで漁獲したスケトウダラの大きさ  
(2010年12月8日 相沼沖)



※2009年は荒天で調査できず

図8 乙部沖(左上), 江差沖(右上),  
上ノ国沖(下)の水温分布